

講義名	社会保障論		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	上瀧 真生		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限		
	2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 / 2017年度 商学部 マーケティング学科 / 2017年度 商学部 経営学科 / 2016年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2016年度 人間社会学部 観光学科 / 2016年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2016年度 経済学部 経済情報学科 / 2016年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	3年生	単位数	2
		講義コード	25053

主題と概要

今日、地域の住民の健康で文化的な生活のためには、社会保障制度による生活の保障は欠かせない。老後生活を経済的に支える年金、病気やけがの際の医療、高齢期の介護、あるいは失業時の保障や育児のための諸施策、こうした生活保障の諸制度を抜きに住民の生活は成り立たない。そこで本講義では、日本の社会保障制度の現状を把握し、今後、住民のためにどのような社会保障制度が必要であるかを考える。

到達目標

社会保障制度の基本的な理念と仕組みを理解すること。
現代日本の社会保障制度が抱える課題について理解すること。
以上をふまえて、今後の社会保障制度のあり方について自分なりの考えをもつこと。

提出課題

講義中に2回小テストを課す。
また、中間レポート試験、および期末レポート試験を課す。

評価の基準

授業中におこなう小テスト、中間レポート試験、期末レポート試験の総合評価（単純合計）による。
授業中におこなう小テスト 10点満点×2回=20点
中間レポート試験 最高40点
期末レポート試験 最高50点

履修にあたっての注意・助言他

できるだけ身近な問題との関係を踏まえて講義するつもりであるが、受講生には身近な問題を歴史や理論と結びつけて学ぶ努力をしてほしい。そのために受講生自身が新聞や雑誌などの関連記事に目を通し、今日の社会保障をめぐる問題について知る努力をしてほしい。
なお、以下のとおり、受講ルールを定める。
(1) 授業開始後15分を経過したのちは、入退室を認めない。
(2) 座席については教員の指示に従う。
(3) 私語厳禁。目にあまる場合は退室してもらう。
(4) 携帯電話などの電源は切る。

教科書

.使用しない。.

プリント資料及び参考文献

講義中にプリント資料を配布する。

授業計画

01. 社会保障とは何か
02. 社会保障を支える仕組み ; 社会保険
03. 社会保障を支える仕組み ; 社会扶助と社会サービス
04. 社会保障を支える仕組み ; 税の再配分機能
05. 日本の社会保障制度の概括的特徴
06. 日本の年金制度の課題
07. 日本の年金制度の課題
08. 日本の年金制度の課題
09. 日本の医療制度の課題
10. 日本の医療制度の課題
11. 日本の医療制度の課題
12. 日本の介護制度の課題
13. 日本の介護制度の課題
14. 日本の若年層向け社会保障制度の特徴と課題
15. 日本の若年層向け社会保障制度の特徴と課題

予習・復習

小テストの準備と復習 30時間
中間レポート試験の準備 15時間
期末レポート試験の準備 15時間

備考